

岡本 敬彦 社長 年頭あいさつ（要旨）

昨年は6月の大阪での地震に始まり、7月の西日本豪雨、9月の北海道地震、それに続く二つの台風の上陸と災害続きの1年でした。本年は災害のない穏やかな1年になることを心より祈っています。

現在、強い事業基盤を持った広栄化学を構築すべく新中期経営計画を策定中ですが、その目玉としたい点について申し上げます。

1. 積極的な設備投資

現在の工場稼働率は非常に高く、この状態が今後も続く見込みで、更なる事業拡大には新工場の建設が不可避です。また、主力製品を生産する工場は老朽化が進んでいますので、安定した収益力の構築には再編・合理化が必要です。

2. 自前製品開発の加速

数年前から取り組みを開始した自前製品開発を加速し、何としても物にしたいと思います。次期中期経営計画の期間中には、事業化目標がイメージできるようにしたいと思います。

3. 業務プロセスの見直し

生産性の向上・付加価値の向上を目指すことはもちろん、最終的には働きやすく、働き甲斐のある職場環境を目指します。それがひいては安全・衛生的な職場環境につながり、必要な人材の確保にもつながります。業務プロセスの見直しには、ITツールの活用が有効ですが、当社としてもデジタル化に取り組んでいきます。

社長就任の挨拶で、スピード重視、常に基本に忠実に仕事を進めること、仕事の常識・進め方を再検討すること、の3点に気を付けながら仕事を進めて行きたいと申し上げました。経営・企業活動の迅速さは判断の迅速さにあるのではなく、より本質的には行動の迅速さにあります。本年は行動の迅速さを引き続きお願いしたいと思います。

最後に、安全とコンプライアンスの重要性を強調したいと思います。私たちが事業を継続していく上で最も大切なことは「安全を総てに優先させる」「コンプライアンスを守る」ことです。安全には日頃から意識して業務に当たられていることと思いますが、安全活動に終わりはなく常に進化し続けなければなりません。引き続き不安全箇所の撲滅に取り組み、安全文化の大前提である整理整頓も進め、不要機材の撤去・置き場の整備も継続していきます。

以上